

# 石川・美麻奈比古神社前遺跡

- 1 所在地 石川県鳳至郡穴水町字川島
- 2 調査期間 第四次調査 一九九五年(平7) 五月～八月
- 3 発掘機関 穴水町教育委員会
- 4 調査担当者 四柳嘉章・辻本 馨・岡本伊佐夫
- 5 遺跡の種類 集落跡
- 6 遺跡の年代 弥生時代～近世
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要



本遺跡は能登を代表する中世村落、西川島遺跡群(崇徳院御影堂領能登国大屋荘穴水保)の一つで、穴水湾から小又川を約1kmほどさかのぼった、穴水低地の奥まった地域に位置し、式内社・美麻奈比古神社参道前に広く遺物の散布が見られる。遺跡は、のと鉄道を挟んで、北側の御供田地区と南側に分断され、南側では西川島地区土地区画事業に伴う第一～三次調査におい

て、弥生時代から古墳時代の住居跡や七世紀の掘立柱建物(倉庫)、中世前期の大型掘立柱建物・井戸などが検出された。

木簡は、御供田地区で、地方道七尾輪島線拡張工事に伴う第四次調査時に出土した。層位は、小石・砂利混じり層を境にして一五世紀後半(一部近世陶器・寛永通宝を含む)の上層と、弥生時代から古代にわたる下層に区分される。木簡は上層で五点出土しているが、文字が判読できるのは三点である。

## 8 木簡の釈文・内容

- |     |   |              |
|-----|---|--------------|
| (1) | 六 | 222×32×9 051 |
| (2) | 柳 | 220×32×9 051 |
| (3) | 弥 | 180×32×8 051 |

(1)は付札木簡。墨痕薄く中央に「六」が確認できるほかは判読不能。下端部がカットされている。

(2)は付札木簡。表裏に墨痕が認められるが、ともに薄片面や下部に「柳」が確認できるほかは判読不能。下端部がカットされている。

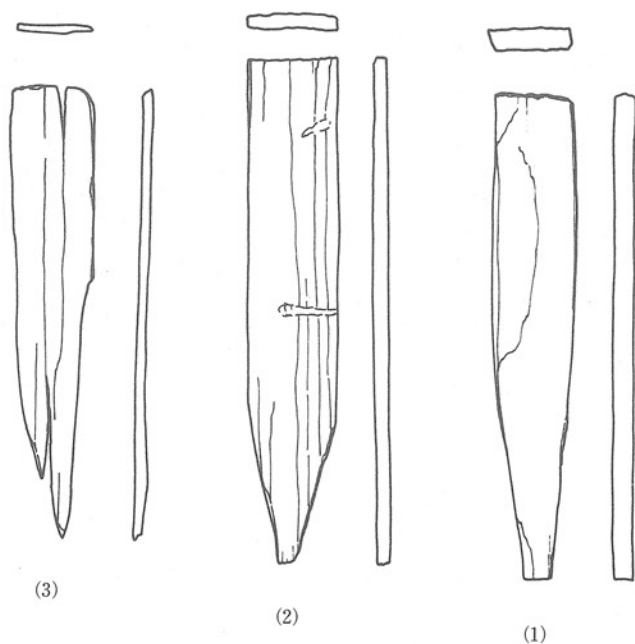
(3)は付札木簡。墨痕薄く下部に「弥」が確認できるほかは判読不能。下端は尖る。

# 9 関係文献

(1) (3)は、すべてスギの板目材である。

穴水町教育委員会『美麻奈比古神社前遺跡―能登・西川島遺跡群における古代集落の調査』(一九九七年)

(四柳嘉章(漆器文化財科学研究所))



## 富山・麻生谷遺跡 あそうや

- 1 所在地 富山県高岡市麻生谷
- 2 調査期間 一九九五年(平7)七月～十一月
- 3 発掘機関 高岡市教育委員会
- 4 調査担当者 武部喜充・根津明義・山口辰一
- 5 遺跡の種類 集落跡・官衙跡
- 6 遺跡の年代 古墳時代～中世
- 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

麻生谷遺跡は、高岡市西部、西山丘陵の麓に位置する。本遺跡の東には、小矢部川が南西から北東方向へ蛇行しながら流れている。



(石動)

本遺跡周辺は、『延喜式』に記載されている古代北陸道の「川人(合)駅」の比定地であり、奈良時代から平安時代を主体とする遺跡が広がっている。本遺跡に北接する麻生谷新生園遺跡では、一九九七年に個人住宅建設に伴う調査で、石敷